

2023 年度新型コロナ及び原油価格・物価高騰対応支援枠  
「休眠預金等活用法」に基づく実行団体公募  
相談機能付き食支援体制整備事業

事業名	沖縄だからできる食を通した相談支援体制強化事業	
団体名	NPO 法人フードバンクセカンドハーベスト沖縄	
所在地	沖縄県	
事業の概要	<p>新型コロナウイルスの影響と厳しい経済状況に直面する生活困窮家庭に対し、連携する生活困窮者支援窓口や、家庭へのアウトリーチを行う団体を通して食の支援を行い、食品利用者の生活状況把握や悩み事などの相談機能を充実させ、正しい制度へつなぐ役割を担い、食品を通した適切な支援体制の充実を促進していきます。</p> <p>ひとり親家庭や子育て家庭などの悩みや不安に対処するため、生活困窮者自立支援の窓口や子ども・家庭の居場所を運営する団体と連携し、できるだけニーズの高い食品のコーディネートやマッチングを行います。連携先は、基本的に専門的な相談機関を持っている、もしくは他の相談できる機関とつながりのある団体であり、食品を利用した家庭からの悩み事や不安を把握できるよう努め、必要に応じてそれに基づいた情報提供や支援を行います。</p> <p>◎定期的な食の支援 ◎相談機能強化 ◎研修プログラムの導入</p>	
事業期間	1 年	
助成額	助成金	24,950,000 円 (直接事業費 24,750,000 円 管理的経費 200,000 円)
審査コメント	長年の安全・安心・安定的な食糧支援機能をストックとして、本土だけでなく離島の福祉団体窓口と信頼関係を構築し事業設計をされており実効性が高いと感じました。沖縄の既採択団体とも連携しながら、地域の食糧支援モデル構築へ貢献されることを期待しています。	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	地域支援団体のソーシャルワーク向上事業	
団体名	NPO 法人ユナイテッドかながわ	
所在地	神奈川県	
事業の概要	<p>当法人は日ごろから地域災害・防災等の関係で神奈川県、神奈川県社会福祉協議会、神奈川県共同募金会などと当団体加盟神奈川災害ボランティアネットワーク（当法人代表は災害時4者協定の担当理事も就任）平時からの県内各市や各社協との連携、協定を含め確立しています。</p> <p>県営住宅では、県住宅課との連携により活動拠点を開設した実績もあり、平時から行政関係機関との連携はしっかりと持っております。</p> <p>県営住宅や市営住宅は収入制限等があり、まさにお困りの方々の集合住宅であると考えます。自治会活動や地域支援も様々だと考えますが、多くの高齢者やシングル、多子、また外国世帯などが多く居住しており、地域に根ざした助け合いが必要です。その地域を支援し、支え、地域ソーシャルワークの向上を育み、育てていく事が今事業計画の根本であると考えます。そのために関係機関と地域が一体となれる事業を、団地内の方々、それを支える支援団体との連携等を築く事業を行います。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	22,133,000円 (直接事業費19,678,000円 管理的経費2,455,000円)
審査コメント	<p>災害支援における地域支援ノウハウを活かしながら、団地に着目し食のある居場所づくりを通じて地域の助け合いを促進したいという熱意が感じられました。平時から行政関係部署や社会福祉協議会と連携が取れている点も評価されます。採択にあたっては近隣県・神奈川県内の他 MOWLS 拠点とも連携いただき、リソースやノウハウの共有を企図いただきたい。</p>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	香川県中讃地域のフードバンクと子どもの居場所を支えるネットワークづくり	
団体名	NPO 法人子どもたちの未来を応援するオアシス丸亀	
所在地	香川県	
事業の概要	<p>貧困状態にある家庭や子供は全体の1割を超えており、この解決は容易でない。本人には責任のない子供たちには貧困の影響が及ばないようにと、多くの善意ある人たちがフードバンクや子ども食堂、子供の居場所づくりといった取り組みを行っており、当法人も直接に支援している。しかしながら、こうした地域に密着した団体のほとんどが小規模かつ財源不足であり、活動の継続にも苦しんでいる現状である。特に悩みは、配布する食料を提供できる企業等が身近に少ないことや、寄付が集まりにくいことである。このため、多くの団体の事業が主催者の個人負担なしには継続できないという弱い基盤の上にあるのが現状である。求められている行政の支援も現状では不十分で、フードバンクへの支援については皆無に等しい。</p> <p>そうした中で、地域（香川県中西讃）に小さな団体を中間支援できるフードバンク団体を作ることが多くの団体から求められている。これにより、他の圏域からの食料品受け入れや地元企業などへの食品提供、寄付の呼びかけ等が実行できると期待されている。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	5,900,000円 (直接事業費5,900,000円 管理的経費0円)
審査コメント	<p>フードバンクとして地元企業等と連携し、子ども達への支援を実施されている実績を活かして食支援の中核的機能を持ち、自治体を横断して活動団体支援を行う構想が評価されます。一方で、食支援団体に対する相談機能を新たに付加するためのノウハウや体制、中長期的な計画に課題が感じられました。本事業実施にあたっては、香川の既採択団体や香川県社会福祉協議会とも連携しながら、事業を設計し実施体制を構築されることを期待しています。中讃地域における食で繋がる相談支援ネットワーク形成に貢献され、県域のロジハブの分配機能を有する食糧支援モデルとなることを期待しています。</p>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	食材支援連携つながり構築事業	
団体名	一般社団法人つながり探究所	
所在地	愛知県	
事業の概要	<p>現在、社会福祉協議会の重層的支援体制整備事業の取り組みの一環として、守山区社会福祉協議会が市営住宅の2部屋を、つながりづくりの拠点として相談室と食材保管室用に借り受け使用します。2024年1月開設に向けて準備を進めています。一般社団法人つながり探究所は食材保管室を共同運営し、これまで支援が届かなかった方々や、近隣のボランティア団体や食支援団体へ中間支援を行います。相談支援機関や関係団体に関わる世帯には、生活課題や制度の狭間により単独では解決のできない事例が多数あります。日常生活に生きづらさを抱えている家庭は、行政への相談を嫌うケースがあり、専門職が訪問する際のきっかけづくりとして、私どもが運営する「たべものおすそわけの会（フードパントリー）」の食材を使い、寄り添い支援を行い関係性が良好になった事例が増えています。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	20,000,000円 (直接事業費18,352,000円 管理的経費1,648,000円)
審査コメント	<p>本事業にて連携が期待される行政関係部署や市区社協との連携の素地があり、他機関・セクターと連携しながら事業に取り組む点で実効性が高いと感じられます。自団体での見守り支援ノウハウを生かして食を通じたネットワーク形成を図られることを期待しています。また、採択にあたってはMOWLSに参画する愛知県社会福祉協議会や県内のロジハブ拠点とも密に連携いただき、リソースやノウハウの共有を企図いただきたい。</p>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	相談機能付き食支援体制整備事業	
団体名	社会福祉法人琴平町社会福祉協議会	
所在地	香川県	
事業の概要	<p>相談機能付き食支援事業を行うにあたり、事業実施の組織を発足して、地域から孤立孤独になりやすい人を把握して伴走型支援により支えあいができる地域づくりに努めていきます。</p> <p>また、琴平町食生活改善推進員協議会、琴平町母子愛育会、K3（ケースリー・琴平の子育てを考える会）等に対して事業の主旨を啓発し、各団体の活動を支援しながら、コーディネートにかかる費用及び支援食品・物資の購入費用を助成し、食支援を通じたニーズ把握、アウトリーチ活動等を行うための取り組みを支援する。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	13,026,000円 (直接事業費 12,805,545円 管理的経費 220,455円)
審査コメント	<p>団体としてこれまでもふれあい弁当による配食や会食会など「食」にまつわる様々な取り組みを推進しており、食生活改善推進員協議会、母子支援組織、子育て支援団体等関係団体の活動を支援する体制の素地があると考えます。本事業ではこども食堂等へも食品提供活動を行い、食堂が支援している生活困窮や孤立しているひとり親世帯等が福祉関連機関等とつながれるようにするための相談機能を強化し、網の目の支援を通じて全世帯へのアウトリーチを目指されている点が評価されます。貴団体がこれまで蓄積されている相談支援ノウハウを琴平町に留まらず近隣市町の社会福祉協議会や団体と連携をされて、食で相談支援が繋がるネットワークの構築に取り組んでいただきたいと思います。香川の既採択団体や香川県社会福祉協議会とも連携しながら、食と相談支援の機能を広げるために圏域での従事者養成と県内のロジハブを通じた食糧支援モデルの形成に寄与することを期待しています。</p>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	相談機能付き食支援プロジェクト	
団体名	社会福祉法人大幸会	
所在地	福岡県	
事業の概要	<p>地域の中で育つ誰もが安心して暮らしを続けられるよう、行政団体との連携を図り、人とのつながりを構築していく。具体的には、社会福祉協議会の下部組織母子父子寡婦会（ひとり親）との連携で食支援の働きかけを行う協定を結び定期的なお困りごと相談を実施し、課題の抽出を実施する。その課題の中でのどう解決を図っていくかを福祉課と協議していく</p> <p>学校内にいるスクールソーシャルワーカーや心理カウンセラーとの連携をはかり、課題のある家庭を早期に発見してするツールとして食を活用し信頼関係を築く。虐待の発見はもちろん課題のある世帯へ支援の輪を広げていく。学校への周知も教育委員会から得られる。</p> <p>障がい児通所支援事業（放課後等デイサービス）が所属する子ども自立支援部会と協定を結び、利用世帯に対して食支援アンケートを実施。世帯の課題抽出をはかる。</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	14,991,000円 (直接事業費 14,970,000円 管理的経費 21,000円)
審査コメント	<p>専門的な知見やノウハウを地域支援事業に還元し、食をとまなうアウトリーチ活動を展開される点が評価されます。学校機関との連携や複数自治体を対象としてネットワークを図るために、他地域や全国の先駆事例からリソースを把握したり、資金分配団体や他実行団体との連携が望まれます。本事業を通じて、全国の母子生活支援施設への活動の周知が期待されます。</p>	

※助成額は実行団体よりご提出いただきました事業計画書・資金計画書に基づき算定しております

事業名	食を通じた見守り支援事業	
団体名	社会福祉法人那覇市社会福祉協議会	
所在地	沖縄県	
事業の概要	<p>食を通じたアウトリーチや見守り、個別支援の仕組みづくりとネットワーク強化</p> <p>①食支援（会食、個別支援、見守り、アウトリーチ）を行う団体への支援（ソフト）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・関係機関へつなぐための助言や紹介</li> </ul> <p>②食支援（会食、個別支援、見守り、アウトリーチ）を行う団体への支援（食材提供）</p> <p>③食を通じた見守り体制の継続性を高める取り組み</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・上記①②事業を通じた実態把握やニーズ分析</li> </ul> <p>①②③を通じて</p> <p>活動団体の連携強化、食支援のモデルづくり、食支援のニーズ把握、食支援活動に興味がある団体の掘り起こし、活動団体のスキルアップ、担当コーディネーターのレベルアップとノウハウの蓄積を目指し、本事業終了後の継続できる仕組みや体制づくりに取り組む事業である</p>	
事業期間	1年	
助成額	助成金	25,000,000円 (直接事業費21,508,542円 管理的経費3,491,458円)
審査コメント	<p>福祉分野における専門性を生かし、地域の実状や既存施策を把握している点が評価できます。休眠預金事業で培ったロジハブのネットワークを活かし、沖縄の既採択団体とも連携しながら、県域の食糧支援モデル構築への貢献を期待します。沖縄の採択団体が2団体になるので、活動の定着化を図るために食フェスタ等を通じて、支援団体間や行政、社協他関係機関をつなげるネットワークを推進する活動にも取り組んでいただきたい。</p>	